

第一言語獲得に興味を持っています。第一言語とは母語のことで、母語は外国語と異なり、特に苦勞を感じることなく、いつの間にか獲得されます。母語に関する様々な知識を、子どもがどのような過程を経て、いつ頃、身に付けるのか等について、子どもを対象とした観察や調査を行い、考察するのが第一言語獲得研究です。第一言語獲得研究は言語学という分野の領域の1つで、新入生の皆さんにはなじみのない人がほとんどだと思いますが、言語や言語獲得に興味をひかれた人には、手始めに以下のような本を読んでみることをお勧めします。

大津由紀雄 編 (2008) 『ことばの宇宙への旅立ち：10代からの言語学』 ひつじ書房

大津由紀雄 編著 (2009) 『はじめて学ぶ言語学：ことばの世界をさぐる17章』 ミネルヴァ書房

広瀬友紀 (2017) 『ちいさい言語学者の冒険：子どもに学ぶことばの秘密』 岩波書店

杉崎鉦司 (2015) 『はじめての言語獲得：普遍文法に基づくアプローチ』 岩波書店